

2021年度 第4回 現代文化人類学会（旧早稲田文化人類学会）定例研究会  
『21世紀のメキシコ革命—オアハカのストリートアーティストがつむぐ物語歌』合評会

日時：7月26日（月）18時15分～

場所：Zoomによるオンライン開催

\*どなたでもご参加いただけます。ただし、オンライン開催のため、事前申込が必要です。

7月23日（金）までに下記のGoogleフォームを通じて申し込みください。7月24日以降、参加申込をされた方のみ、ZoomのURLをお送りします。

<https://forms.gle/Y11PFWyFrNiqnegw9>

企画趣旨：

2021年度第4回の定例研究会では、昨年3月に刊行された『21世紀のメキシコ革命—オアハカのストリートアーティストがつむぐ物語歌』をめぐる合評会を開催することになりました。当日は著者による内容紹介や2名の評者による論評に加えて、参加者からのご意見をいただき、多様な議論を展開したいと考えています。

18時20分～18時40分 著者解題 山越 英嗣（都留文科大学文学部准教授）

18時40分～19時00分 評者① 相田 豊（東京大学大学院総合文化研究科教務補佐員）

19時00分～19時20分 評者② 登 久希子（国立民族学博物館外来研究員）

19時30分～19時45分 リプライ

19時45分～ 質疑応答

\*著作情報

山越 英嗣『21世紀のメキシコ革命—オアハカのストリートアーティストがつむぐ物語歌』  
（春風社）

<http://www.shumpu.com/portfolio/749/>

お問い合わせ：

現代文化人類学会定例研究会ワーキンググループ

箕曲在弘

minoo [a] waseda.jp

\* [a]を@に変えて送信してください。